

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年8月2日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和3年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室 ・体力づくり教室 ・小学生バドミントン教室 ・救急法講習会【中止】 ・第24回小学生ドッジボール大会 ・青少年体育館スポーツ交流会 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・フライングディスク教室 ・スポーツ・健康教室【中止】 ・初心者対象トレーニング講習会【中止】 ・青年団連携事業【中止】 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階</p> <p>施設概要：</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面</p> <p>トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員：館長1名 館長補佐1名 副館長1名 指導員4名 合計：7名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		R02年度(決算)	R03年度(決算)	R04年度(予算)
収入	県支出金	37,591,000	37,281,000	37,036,000
	事業費収入	225,510	282,182	350,000
	収入計	37,816,510	37,563,182	37,386,000
支出	事業費	342,323	471,324	680,000
	管理運営費	14,768,251	13,710,981	13,500,000
	人件費	19,019,306	19,519,950	19,808,000
	消費税	3,686,630	3,860,927	3,398,000
	支出計	37,816,510	37,563,182	37,386,000
使用料収入		3,691,770	4,217,510	4,244,000

3 利用実績

(1)利用団体数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
利用者数	70,484	58,630	60,991	39,169	50,275	55,910
利用団体数	1,830	1,482	1,640	1,595	1,768	1,663

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への活動紹介、(中学校の職場体験の)生徒の受け入れなど若い世代との関係性づくり、施設の周知、ポッチャなど障害者と一緒に楽しめるスポーツ種目の導入など、利用者獲得のための取組を行っている。 ・特に、ポッチャ体験の取組はとても良いので、ぜひ定期的な開催へとつなげてほしい。 ・コロナ禍において、主催事業の簡素化や縮小を行い、感染対策を講じながら事業を行っている。 ・中止になった事業もあるが、小学生を対象としたスポーツ教室やニュースポーツのイベントなどを実施し、子どもたちの居場所づくりにも取り組んでいる。 ・地域の自主スポーツクラブを支援し、各クラブの運営が円滑に進むように地域連携も進めている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートや事務所前の意見箱による年間を通じたニーズ等の把握、利用者への礼状の送付など、レポート率向上を図っている。 ・体育館内外の清掃や器具庫の整理整頓に努め、清潔な施設づくりを目指している。 ・高齢者に向けての主催事業(ラージ卓球など)も継続して開催している。 ・障害者の利用促進に向け、ポッチャを楽しむ会を開催している。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命講習の受講を含め、命に関わる緊急時への対応について、定期的な訓練の実施や必要な講習の受講に努めてほしい。講習受講済みの方も、年に1回は改めて救命講習を受講することで、意識と対応力を維持することができる。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる場合もあるため、少人数での実施、オンラインでの実施など工夫し、中止が続いて救命対応に関する訓練等ができなかった、ということにならないよう調整してほしい。
③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングの機器を少しずつ更新し、また、職員のトレーニングに関する専門知識と高いスキルが、利用者の拡大につながっている。 ・当該年度も大きな事故なく運営できている。職員による安全点検を継続してほしい。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人が関わって運営する施設として、ボランティア募集の際は、高知県ボランティア・NPOセンター(高知県社会福祉協議会)が夏休み前に発行する「ナツボラ」(夏のボランティア体験)を活用することで、大学生や高校生などの若年層に情報が届くので、来年夏の活用を検討してほしい。 ・職員による巡回、目視も継続し、利用者が常に気持ちよく安全に利用できるよう努力を続けてほしい。
④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、利用者数は着実に元に戻っており、都市型の施設としての強みが発揮されている。
⑤収支の状況	

<p>総合評価</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年施設として仕様書に定める内容や目標を十分に達成している。 ・少ない職員数で年間ほぼ休みなく開館し、利用者のニーズに応えている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下であっても、人々の健康志向が維持され、あるいは高まりつつあることが、利用者数が復調傾向にあることから認識できる。 ・大人世代に向けての利用促進と、それとは背景が異なる青少年世代に向けた利用促進の2つの視点から企画運営を検討する必要がある。そういった視点で他県の取組を研究・視察してみることも必要である。 ・身体づくり、健康づくりは先を見据えた取組となる。幅広い視点を持って運営内容を構築していくことを期待する。 ・今後民間移行される、中学校の運動部活動の指導体制について、地域の施設としての役割やできることを考え、運動好きな子どもの育成に貢献してほしい。
--------------------	---

- 【評価の目安】**
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの